

2月1日 朝礼のお話

持久走大会、晴天に恵まれ、予定通りできて本当の良かったです。また、みんなが一生懸命取り組んでいて、とても素晴らしいと思いました。また、「公園で練習した」「持久走大会のコースを前もって走って練習した」という話も聞き、よく努力しているなと思いました。ところで、自分の目標通りになったかな。6年生の人はこれが最後ですが、走ることが好きな人は、中学校では駅伝大会がありますので、挑戦してほしいと思います。1～5年生の人は、うれしかった、悔しかったという気持ちを来年の持久走大会に生かしてってください。

「笑顔いっぱい、思いやりいっぱい、あいさついっぱいの正則小学校にしましょう」

その中の笑顔について考えてもらいたいと思います。

ところで、みなさんは毎日を笑顔で生活していますか？

笑顔になるときは、どんな時ですか。

褒められたとき、みんなと楽しく遊んでいるとき、勉強していることがわかったとき、給食を食べているとき・・・

褒められるには、どうしたらよいのかな。 みんなと楽しく遊ぶにはどうしたら良いのかな。勉強がわかるようにするにはどうしたらよいのかな。

私は、正則小学校のみんなに仲よく楽しく学校生活を送ってほしいと思っています。そうすれば、みんな笑顔になれる。

でも、人間ですから友達ともめることもあります。そんな時、「どうしてこうなるのかな」「なぜ、こうなるのかな」と「どうして」「なぜ」と考えてほしいと思います。そうすれば、こうしなければよかったということに気付くと思います。

例えば、「友達とけんかをした」とき、「どうして」と考えます。「僕が悪口を言ったから」「私がたたいたから」となるわけです。そこで、どうしますか。

私は、小学校の時、あることが原因で、友達の頭をたたいたことがあります。先生に注意されて、謝りました。相手も許してくれました。でも、私は頭をたたいたので、家に帰ってもとても心配でした。そこで、どうしたら良いか考えました。私の出した答えは、「友達を絶対にたたかない。もう一度明日謝る」です。次の日、学校で友達を見てほっとしました。そして、駆けよって「昨日はごめんね。これから、ぼくは友達を絶対たたかないからね」と言いました。彼は、「いいよ」と言ってくれました。それから、友達をたたいたことはありません。

そこで、思うことですが、人間ですからけんかやもめごとが無いとは言えません。ただ、反省してやり直すことができます。それは、人間には想像する力があるからです。そこで、みなさんにお願いがあります。もし失敗したら「なぜ」「どうして」と考えて、一回り大きくなってほしいと思います。また、人を大切にしてほしいと思います。そうすれば、笑顔がいっぱいになると思います。